

災害対策について



内藤 幹夫 議員



一般質問



滝田 一郎 議員



主要地方道大田原氏家線
親園佐久山バイパス周辺
市道整備について

質問…避難所等の通信手段確保について伺います。

答弁…本市の地域防災計画では、孤立集落災害予防対策として、市は道路の整備や通信手段の確保に努めるとともに、発生時に備え、孤立可能性地区における避難施設の把握、非常用電源設備の整備、必要品の備え、ヘリコプターの離着陸場の確保に努めることとしています。本市に

は孤立可能性集落が24地区あることから、まず計画に定める対策を着実に実施していくために、本年度、通信インフラが被災し、固定電話や携帯電話での通信が断絶した場合を想定して、消防団車両の受令機を活用した相互通信の現地調査や、その他のどのような通信手段があるのか調査研究しているところです。

質問…避難所開設にあたり、役

質問…荒町のバイパス進入路、箒川松原橋周辺、滝沢、滝岡、親園地区のバイパス周辺市道や標識等の整備について伺います。

答弁…バイパスの開通に伴い、交通の流れや安全性など、周辺市道の変化を注視する必要があると考えています。また、滝沢地区のバイパスと市道が幾つか交差しますが、安全対策として県道路管理者や交通管理者に対

して安全な交差点となるよう申入れを行います。

質問…土地所有者が荒町の土地を提供してくださる話になつているので、再度見解を伺います。

答弁…荒町交差点については、指摘のとおり非常に狭く、一時停止で確実に止まらないとすれ違いもできないことは認識しています。今後の通行量がどうなっていくか観察したいと考え

ています。

質問…10年くらい前から要望書を出し、バイパスができれば考えますという佐久山川の土管をボックスカルバートにできないか伺います。

答弁…盛土区間をボックスカルバートとし、市道親園佐久山線との交差部分は過去に溢水被害が^{いっすい}発生したことがあるため、現在県が河川改修の設計を進めています。

割や手順を明記した自治会向けマニュアルやガイドラインは作成されているのか伺います。

答弁…職員用の内部資料として、避難所の開設や運営に関するマニュアルは作成してあります。今ある市役所のマニュアルを、自主避難所の開設マニュアルに改良できないか検討します。